

エベレスト山の標高

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナンダール マダーブ ナラエン

日本一高い山は富士山、その美しい姿は関東平野や隣接県からも望むことができます。そして〇〇富士の名で親しまれている富士山に似ている山は数多くあるかと思えます。GoToTravel で昨年訪れた香川県では讃岐富士を見ることができました。日本の皆さんは比較的簡単に富士登山ができ、また5合目までは車でも行けますが、殆どのネパール人はネパール一高い山、世界一高い山エベレスト登山なんて思いもしません。同じ山国でもだいぶ事情が違います。ネパールでは神が宿る山としてマチャプチャレ、ガネッシュヒマール等、登山できない山や、ヒマラヤ山脈の名無しの山々が多くあります。

今回はエベレストの標高について触れてみたいと思います。

エベレストは標高8,848m、ネパールの東北部サガルマタ県の中国との国境を挟んでそびえる世界最高峰の山です。ネパールでは Sagarmatha サガルマタと呼ばれます。意味は「sagar = 空」そして「mata = 上位部」のことで、「大いなる青い空の頭」を意味します。エベレストの名前は地域や国によって別名で呼ばれています。チベット語では Qomolangma チョモランマ「世界の聖母」の名前、中国語では Shèngmǔ Fēng センムフェング「聖なる母の頂上」と呼ばれてもいます。

イギリス王国がインドを植民地にしていた時代、測量士・地理学者として配属されたジョージ・エベレスト氏が初めてサガルマタ山の標高を測量しました。その後西暦 1865 年に測量士の名前に因んでエベレストと命名されました。

中国とネパールの国境にそびえるエベレストは数千万年前、インドプレートとユーラシアプレートが衝突してできたことはご存じの方も多と思います。衝突によって地質が圧縮され、現在ヒマラヤと呼ば

れている全長約 2,400 kmの山脈が形成されました。ヒマラヤ (Himalaya) とは万年雪のことです。ヒム (hima) は雪、ラヤ (laya) は場所を意味します。衝突は今も続いており、エベレストの標高が変化する一因となっています。インドプレートは 1 年で 10 センチメートルほど北上しているとされています。

数十年前からエベレストの標高 8848m をめぐる議論が起こっています。今では 2015 年に発生したネパール大地震マグニチュード 7.8 が山の高さに影響したのではないとも言われています。

一昨年、中国の習近平国家主席がネパールを訪問した際、エベレスト標高の議論に終止符を打つため、両国で再測量を行うことを決めました。その後、ネパールと中国各々がグローバルナビゲーション衛星システムを使用、調査し、気候変動などで標高に変化が認められ、昨年 12 月 8 日に 8,848m から 8,848.86m と発表され、70 年振りに標高が塗り替えられました。

世界にある 8,000m 以上の山々 14 座のうち 8 座はネパールに位置します。

1953 年 5 月 29 日にネパール人のテンジン・ノルゲイとニュージーランド人のエドモンド・ヒラリーによってエベレスト初登頂が成されました。その後、多くの登山隊が挑戦し、幸運な登山家たちは登頂に成功しています。コロナ前までは晴れた日の山頂までの渋滞が問題になっていました。



エベレスト山頂への渋滞模様